

## 香福茸栽培に係る原木の伐採について

### ○原木の伐採(10月中旬～3月上旬)

伐採の最適期は、一般的に「黄葉のころ」と言われ、10月中旬～11月中旬頃が該当します。理由として、

- (1)伐採した木の枝葉が木材中の水分を取ることができる(葉枯らし)
- (2)樹皮が剥がれにくい時期である
- (3)樹木内部に、デンプンなどの栄養分の貯蔵が多い時期である

が挙げられます。伐採のポイントとして、秋の紅葉時期が始まり(クヌギやコナラの場合は、黄葉と呼ばれます)、葉が全体的に茶色くなる前に伐採することが重要です。樹木を伐採すると、葉から内部の水分が蒸散して枯死が早まります。

#### 葉の色による樹木の伐採適期(コナラ)



- ・まだ青いかな、という時期が伐採の最適期。
- ・全体の葉が茶色くなってしまうと葉枯らしの効果はなくなります。

### ○玉切りの時期

葉枯らしは、1か月半～2か月程度放置するとほだ木として適した乾燥状態になります。そのため、この時期に玉切りを行い運搬することが望ましいですが、降雪等の関係で遅れる可能性があります。その場合は、伐採した木の枝落としや玉切りをして山に置いて置くことは、**木材が水分を多く含む行為なので絶対にしないで下さい。**

シイタケ菌は水分が多い木材のところには成長していかず、他の雑菌が入ってしまい、シイタケの発生量が少ないほだ木となってしまいます。伐採時期と伐採後の乾燥をしっかり行い、優良なほだ木造りを行いましょう。

